

たのはた

議会だより

No.
140

2024.9.13

岩手県田野畑村議会



6

月定例会

- 2 令和6年度一般会計補正予算などを可決
- 4 ここが聞きたい！一般質問
- 8 みんなのスマイル

おいしい小玉スイカをどうぞ

8月上旬、道の駅たのはたの産直コーナーに旬の野菜や果物など各生産者さん自慢の品々が並べられました。(写真は佐々木太さん 切牛地区)

6 月 定例会

令和 6 年度一般会計補正予算などを可決

令和 6 年第 3 回定例会は、6 月 14 日から 6 月 17 日までの会期で開かれました。村長提案の報告 2 件、承認 3 件、議案 3 件は、原案どおり可決。

一般質問は、6 人の議員が登壇し、村政課題、教育課題などについて村の考えを問いました（4 ～ 7 頁）。

議決した主な議案など

●繰越明許費繰越計算書の報告について（令和 5 年度田野畑村一般会計予算）

令和 5 年度に計上した予算で、プレミアム付商品券発行事業ほか 14 事業の繰越総額 1 億 6 1 1 2 万 6 千円を 6 年度に繰り越すもの。

●事故繰越し繰越計算書の報告について（令和 5 年度田野畑村一般会計予算）

令和 5 年度に計上した予算で、村営牧野管理運営事業の 59 万 4 千円を 6 年度に繰り越すもの。

●専決処分した事件の承認について（田野畑村村税条例の一部を改正する条例）

地方税法等の一部を改正する法律等が令和 6 年 3 月 30 日に公布され、同年 4 月 1 日に施行されたことに伴い、田野畑村村税条例の一部を改正し、所要の措置を講じるもの。

●専決処分した事件の承認について（令和 5 年度田野畑村一般会計補正予算（第 11 号））

2 0 0 0 万円を追加し、総額を 4 9 億 7 8 1 万 1 千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・道路維持事業（道路除排雪等業務委託料）：2 0 0 0 万円

●専決処分した事件の承認について（令和 5 年度田野畑村一般会計補正予算（第 12 号））

2 1 7 万 8 千円を減額し、総額を 4 9 億 5 6 3 万 3 千円とするもの。主な内容は次のとおり。

補正予算

●令和 6 年度田野畑村一般会計補正予算（第 1 号）

1 億 1 6 1 7 万 3 千円を追加し、総額を 3 6 億 6 6 3 6 万 5 千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・庁舎エアコン設置工事：9 5 0 万 8 千円
・地域振興推進員報酬：1 5 8 万 7 千円
・縁結び報奨金：1 0 0 0 万円
・結婚おめでとうお祝い金：3 0 0 万円
・住民税非課税世帯臨時特別給付金：1 0 0 0 万円
・低所得者支援臨時特別給付金：1 0 0 0 万円
・低所得者支援及び定額減税補足給付金：8 0 0 万円
・低所得者子育て世帯臨時特別給付金：2 5 0 万円

・草地畜産基盤整備事業委託料：6 0 万 9 千円

・道の駅たのはた遊具整備工事：4 8 5 万 8 千円

・公共土木施設等災害復旧測量調査設計業務委託料：6 0 0 万円

●令和 6 年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）

【事業勘定】5 6 万 6 千円を追加し、総額を 5 億 7 7 5 5 万 8 千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・一般被保険者医療給付費分：3 6 万 6 千円

【直営診療施設勘定】6 3 8 万 6 千円を追加し、総額を 1 億 2 5 4 4 万 8 千円とするもの。

主な内容は次のとおり。

・医科職員共済組合負担金：3 3 6 万 6 千円

・医科各種学会等参加負担金：2 5 万円

・医科機械器具費：3 0 万 8 千円

●令和 6 年度田野畑村後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

3 3 万 5 千円を追加し、総額を 4 6 8 6 万 2 千円とするもの。主な内容は次のとおり。

・通信運搬費：2 1 万 7 千円
・被保険者保険料還付金：1 1 万 8 千円ほか。

発議案第1号

●議員なり手不足対策特別委員会の設置について

特別委員会設置についての発議案が提出され、可決されました。

提出者 佐々木芳利議員

賛成者 小松山久男議員

賛成者 工藤求議員

賛成者 佐々木功夫議員

なお、議員なり手不足対策特別委員会の委員長に中村勝明議員、副委員長に上村浩司議員を選任しました。

発議案第2号

●現行の健康保険証の存続を求める意見書について

現行の健康保険証の存続を求める意見書について、意見書を関係機関に提出されるよう村議会会議規則第14条の規定による提出があり、総務教育民生常任委員会に付託することに決定しました。

提出者 中村勝明議員

賛成者 上村浩司議員

賛成者 畠山智議員

6月定例会で決まったこと

議案番号	議案名等	審議結果
報告第1号	繰越明許費繰越計算書の報告について（令和5年度田野畑村一般会計予算）	可決
報告第2号	事故繰越し繰越計算書の報告について（令和5年度田野畑村一般会計予算）	可決
承認第1号	専決処分した事件の承認について（田野畑村村税条例の一部を改正する条例）	可決
承認第2号	専決処分した事件の承認について（令和5年度田野畑村一般会計補正予算（第11号））	可決
承認第3号	専決処分した事件の承認について（令和5年度田野畑村一般会計補正予算（第12号））	可決
議案第1号	令和6年度田野畑村一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第2号	令和6年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第3号	令和6年度田野畑村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
発議案第1号	田野畑村議会議員なり手不足対策特別委員会の設置について	可決
発議案第2号	現行の健康保険証の存続を求める意見書について	継続審議

議案 Pick up

こんなことが決まりました

道の駅たのはた 遊具整備工事

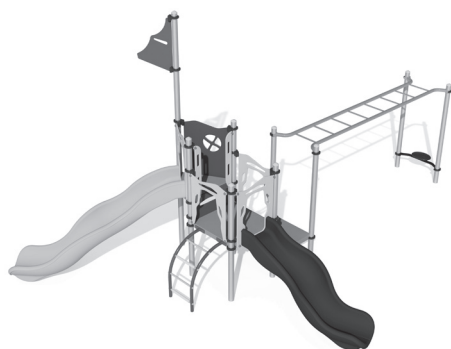
令和6年度一般会計補正予算

6月定例会で、道の駅たのはた遊具整備工事費を含む補正予算案が可決されました。

村は、県の補助金である地域経営推進費（補助率4分の3）を活用し、道の駅たのはた裏のスペースに、一体型の遊具1基（対象年齢3歳から6歳まで）を整備する予定です。

道の駅周辺には「芝桜」や東日本大震災からの復興のシンボル「ぎぼうの桜」など、見て楽しむスポットもありますが、今回は子どもたちが遊ぶスポットとして整備される予定です。

◇予算額：485万8千円



遊具のイメージ

財政見通し踏まえ庁舎建設の前進を 村長…さまざまな意見を伺いながら 機能・立地等を絞り込みたい



佐々木 芳利^{議員}

【問】新庁舎建設は中・長期財政見通しがついたなら前進するべきタイミングだと思うが、地区懇談会の意見等も参考に村はどう判断しているか。

【村長】昨年10月に策定した中長期財政見通しでは、財政状況の改善が見られたところである。懇談会で一番多く寄せられている意見としては、

「もう何年も検討してきたはず。建設に前向きに取り組むべき」、「利便性のあるところ、人の集まりやすいところに建設するべき」、といった、基本構想に基づく速やかな庁舎建設に理解を示すものであった。

また、その他の意見としては、「隣接する小学校の校舎を活用してはどうか」などといったものがあつた。これらの意見や村の財政状況を踏まえ、構想段階から次のステージに進めつつ、さまざまな関係者のご意見を伺いながら庁舎の役割、機能、立地等について絞り込みを図っていく必要があると考えている。

【問】道の駅、思惟創館周辺の緑地を整備する必要があると思うが、予定構想があれば示されたい。

【村長】道の駅たのはたの更なる利便性向上と地域活性化を図るため、庁内に「道の駅たのはたエリア機能強化プロジェクトチーム」を設置し協議を始めたところである。このプロジェクトチームにおいて、道の駅がもたらす多面的な機能の強化が図られるよう、問題点や課題の整理を行い、関係機関との協議を重ね、必要な施策を検討・実施してまいりたい。その中で、緑地についても、思惟大橋コミュニティ公園との役割分担も意識しながら、道の駅利用者や村民の満足度が高まるよう検討してまいりたい。

森林環境譲与税の配分額と活用内容 村長…5年間で5,063万5千円 意向調査し森林整備進める



畠山 智^{議員}

【問】森林環境譲与税が配分されていると思うが、配分額と今後も含めた活用内容を伺う。

【村長】令和元年度から5年度までの合計で、5,063万5千円となっている。活用内容は、昨年度までの主な事業として、村内の森林情報調査とこれに基づいた森林所有者の意向調査、国、県の補助事業を活用した私有林整備に対する嵩上げ補助を行っている。その他、今後において増大すると思われる森林整備に向けた基金積み立てを行っており、昨年度末で基金残高は3,058万円余となっている。今後の活用については、森林所有者の意向調査の推進や、これに伴う森林整備を行うとともに、村が設置している「新たな森林システム推進会議」により、林業に関わる方々の意見を聞きながら有効に活用してまいりたい。

【問】人口減少対策は、若い人の定住が必要不可欠と思う。若い人の働く場について、村長の考えを伺う。また、今春の新卒者で村内及び近隣に就職した人の人数を把握しているか伺う。

【村長】村では、「高校生しごとメッセ in 宮古」への参加や、「宮古地域企業ガイドブック」の学校への配布を継続的に行い、地元産業や企業に対する理解を深めるとともに、新規学校卒業者の地元就職意識の高揚を図っている。今春の新卒者の動向ですが、個人情報保護の観点から具体的な情報収集はできておりませんが、役場、陸中たのはた、産業開発公社では新卒者の応募はなく、村内に就職した人は多くはないのではないかと推測している。なお、各事業者がハローワークを通じて行う求人活動において、中途採用されている人がいることは確認できる範囲で把握している。

小中施設の一体型を検討する考えは 村長…施設改修に多額の費用生じる 当面は現校舎を利用する考え



小野 協次議員

【問】今後、出生数が一桁で推移する状況が続く場合、小中施設の一体型を検討する必要があると感じているが村長の考えを伺う。

【村長】3月議会定例会での教育長の答弁のとおり、小中学校の校舎が一体校舎、または隣接した場合のメリットはあるものの、施設の改修には多額の費用が生じる見込みとなっている。当面は現校舎を利用することとし、今後、施設の在り方の方向性を検討してまいりたい。

【問】令和11年度以降、一部の学年で複式学級となる可能性があるとのことだが、その場合どのような教育を進めていくことが田野畑の子どもたちのためになるのか教育長の考えを伺う。

【教育長】複式のメリットとして考えられることは、少人数により教員の指導がより細やかになり、個々に応じた指導が充実すること。また、下学年の児童にとっては上級生を身近で見ることや学習に臨む姿勢や勉強の仕方を学べることで、上学年の児童にとっては、下級生の世話をすることで優しさが育まれ、思いやりの心が育ちやすくなることや、学習面においても、自分の学びを振り返り、より確かな定着につながるなどが挙げられる。デメリットとしては、少人数により体育の授業や集団活動などの際に制約があることが挙げられる。考慮すべき点としては、多様な考えに触れ、思考等の面において広がりや深まりをもたせることや、豊かなコミュニケーション力を育むためには工夫を要することなどが挙げられる。何より教員の授業力の向上が重要であることから、研修等を通じて全教員の資質向上に取り組んでまいりたい。

地元就職を望む生徒が残れる方策は 村長…田野畑学で取り組む体験を 村内就職や定住に繋げたい



佐々木 伸議員

【問】地元就職の意思のある生徒が、地元に残れるようにする方策をどう考えているか伺う。

【村長】村内の児童生徒が地元に残れるようにする方策については、小学校から中学校までの9年間で「田野畑で遊び、田野畑を知り、田野畑で学び、田野畑に貢献する人づくり『田野畑学』」を実践している。具体的な一例を挙げれば、小学生には農業や酪農、稲作体験など、中学生には林業や漁業、職場体験、仮会社社コマルなど、地域資源や起業教育、人的資源を学習材料とした体験活動を通じて、田野畑村の「良さ」を実感することで、地元に着と誇りを持つ人が増え、村内就職や定住に繋がってもらいたいと考えている。

【問】人口減少を食い止めるためには高齢者の健康長寿を促進することが大切だと思う。健康長寿を伸ばすための方策をどう考えているか伺う。

【村長】村では、希望される地区で毎月開催している「はつらつ教室」や自立した生活に必要な筋肉を維持するための「貯筋運動」、また「栄養相談」や「健康相談」などさまざまな事業を行っている。また、検診の受診率を上げることや健康寿命の延伸につながるかと考えられる。本年度、診療所に新しい医師をお迎えしたこともあり、医師の考えも伺いながら、診療所側からも積極的に高齢者に対し健康寿命の確保について情報発信等を行っていきたいとも考えている。そして、運動することや検診を受けることが重要なものももちろんのこと、皆さんで話をしたり笑ったりすることも健康寿命の延伸には大切なことです。敬老会の参加率の向上も含め、もっと多くの村民に参加いただけるよう周知や工夫を重ねてまいりたい。

公社体制と特産品開発の取り組みは 村長…22名の職員体制でスタート 連携等を含め特産品開発を



中村 勝明^{議員}

【問】公社の役員体制と職員採用はどうなっているか。また、特産品開発は公社が事業主体で取り組むべきと考えるがこれからどうする考えか。

【村長】現在は、理事長、副理事長、理事4名、監事2名の計8名体制となっている。職員採用については、令和6年度は22名の職員体制でスタートした。今月に入り臨時職員1名を採用したほか、他にも採用希望が寄せられているとのことだ。

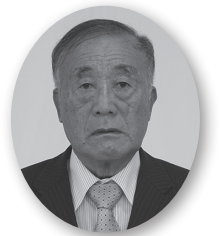
また、公社が特産品の開発に携わるのは、村にとって必要な業務と認識している。現在は、職員体制の不足や牛乳・乳製品事業の収益悪化という状況があり、すぐにその他の特産品開発に積極的に取り組める状況とは言えないが、甘竹田野畑と連携して「日本一の鴨肉研究会」を立ち上げ、商品化を図るなど新たな取り組みも進めている。今後生産者の声に耳を傾け、特産品開発に取り組むよう指導してまいりたい。

【問】獣医師確保を村としてどう考えているか。

【村長】本年度も県要望の重点項目に掲げたところであり、畜産農家が安心して経営できるように、県に対しても強く働きかけてまいりたい。

また、先般、岩手大学で令和7年度から獣医学部を新設することが新聞等で報道された。これに関連して、本年度、科学技術振興機構が公募している「共生の場形成支援プロジェクト」に「畜産」をテーマとして事業申請する計画があり、その事業を展開していく基幹自治体の1つに本村が選ばれている。今後においても、県や近隣市町村、岩手大学等と連携しながら、獣医療体制の確保に取り組んでまいりたい。

村営住宅に入居しやすい政策が必要 村長…村営住宅など10戸空きあり 定住促進住宅は家賃を見直す



佐々木 功夫^{議員}

【問】村が運営している住宅の利用状況について伺う。今後、入居しやすい政策が必要ではないか。

【村長】現在、村が一般住宅向けに提供している住宅は、村営住宅が22戸、災害公営住宅が63戸、定住促進住宅が30戸の計115戸あり、このうち先月末時点で、村営住宅3戸、災害公営住宅3戸、定住促進住宅4戸の計10戸が空いており、広報で入居募集を行っている。村営住宅と災害公営住宅については、低額所得者や東日本大震災の被災者の生活を保障するという目的と、国が定めたルールがあり、村の独断で入居条件を大幅に緩和することは難しい。一方、定住促進住宅は、そのような制限はなく村で独自の入居条件を設定できることから空きが長期化している住宅を中心に、家賃の引き下げ等を実施してまいりたい。

【問】道の駅の利用状況と合わせ経営状況はどのような状況になっているか伺う。

【村長】令和5年度は23万4734人の利用者数となり、前年度比14・1%の減となった。また、道の駅たのはたの運営を行う一般社団法人思惟の風の経営状況につきましては、昨年度に比べ売店やファーストフード部門の売り上げが低調となり、売上実績は前年度比11・7%の減で、収支も厳しいと伺っている。これは、近隣における相次ぐ道の駅オープンや、新商品開発に向けた投資などによる影響があったものと推察している。村としては、今議会に補正予算に計上している道の駅への遊具の設置や、チェーンベースのインターチェンジ化、エリア全体の活用検討、あるいは魅力ある商品の開発支援などを通じて、道の駅の利用向上を図ってまいりたい。

質問者	質問項目
佐々木 芳利	◆庁舎建設は、中・長期財政見通しがついたなら前進すべきではないか ◆道の駅、思惟創館周辺の緑地を整備する必要があるのではないかと（その他の質問） ・人口減少対策について
畠山 智	◆先行配分されている森林環境譲与税の配分額と活用内容は ◆人口減少対策として、若い人の働く場についてどう考えているか
小野 協次	◆出生数が一桁で推移する場合、小中施設の一体型を検討すべきでは ◆複式学級となった場合、どのような教育を進めていくのか（その他の質問） ・庁舎の現状と課題について、村民の理解をどう捉えているか ほか 3 件
佐々木 伸	◆地元就職を希望する生徒が地元に残れるための方策をどう考えるか ◆高齢者の健康長寿を伸ばすための方策をどう考えるか（その他の質問） ・地域コミュニティを維持する手立て、方策を伺う ほか 3 件
中村 勝明	◆産業開発公社の役員体制と職員採用はどなっているか伺う ◆獣医師確保対策を村としてどう考えているか（その他の質問） ・たのはたこども園の副食費をどうする考えか ほか 5 件
佐々木 功夫	◆村営住宅等の利用状況を伺う ◆道の駅の利用状況と経営状況を伺う（その他の質問） ・道の駅と三陸道のインターチェンジ設置の見込はどうなっているか

庁舎建設の先進事例を視察

新庁舎建設特別委員会（佐々木功夫委員長）と政務調査会（工藤求会長）は6月27日～28日、村と合同で秋田県八郎潟町と八峰町を訪問し、庁舎建設の先進事例視察を行いました。八郎潟町役場（令和4年完成）は、3階建ての鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）。執務スペースの背後にバックヤードを設け、書庫や休憩室等を配置。また、議場は、災害時の避難所等に活用することを想定していました。

八峰町役場（平成21年完成）は、2階建ての木造庁舎です。延べ床面積は1998平方メートルで、村が基本構想案で検討している面積と同等の広さです。躯体は木造で、外壁の全面に木材を使用しているのが特徴です。

村議会では、これまでも庁舎建設の先進事例視察に取り組んでいます（平成31年・山形県河北町、令和4年・宮城県南三陸町、福島県国見町）。今後も、本村の新庁舎建設の検討に活かしていくために、先進的な事例の調査研究に取り組んでいくこととしています。



八郎潟町役場の議場



木造 2 階建ての八峰町役場

みんなのスマイル😊



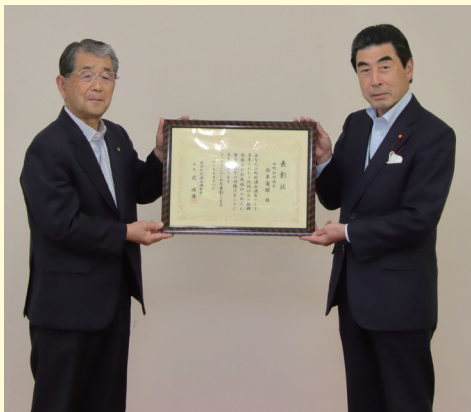
かね こ まさのり
金子正典さん
(日蔭・55歳)

◆**村の好きなところは**
山の仕事をしながら、太平洋が一望できる景観がとても大好きです。

◆**村や議会に期待することは**
一次産業の活性化が村の元気につながると思うので、是々非々の議論をしていただき、より良い施策につながることを期待しています。

◆**スマイル、元気の源は**
春は椎茸栽培、夏は山仕事、秋は山菜取り、冬は趣味のスキーと季節を感じながらの生活をするのが、元気の源につながっています。

◆**最後に一言お願いします**
現在、普代村から自伐林業の研修で1名の方を受け入れています。少しでも山仕事に興味のある方は、サポートしますので声をかけてください。



東部町村議会議長会表彰を受賞した鈴木議長㊤と昆会長㊦

鈴木村議会議長に 東部町村議会議長会表彰

鈴木隆昭村議会議長が、令和6年度東部町村議会議長会（会長・昆暉雄山田町議会議長）の自治功労表彰を受賞しました。

表彰式は5月16日、同会の定例総会で行われ、昆会長から鈴木議長に表彰状が授与されました。

鈴木議長は議長在任は、現在で3期目で、在職年数は8年7ヵ月（基準日・令和6年3月1日現在）になります。この度の受賞は、同会の表彰規程（議長在職6年以上）に基づき表彰されました。

同会は、構成町村議会（普代村、田野畑村、岩泉町、山田町、大槌町の5町村議会）の正副議長で構成し、顕彰事業のほか議員研修や視察事業などに取り組んでいます。

あ と が き

広報公聴常任委員になり初めての「あとがき」の担当になり、どのような内容を書いたらよいか考えました。

広報紙は、広報紙を通じ村民の皆様にお伝えする大切な役割を担っていると思います。私が思う広報紙を書くことにしました。そして、議会でのどのような課題が取り上げられ議論されたかを、ありのままにお伝えし、議会をもっと身近に感じてもらい、若い世代の方にも議会の活動にも興味を持っていただき、知ってもらえることだと思います。

これからも「村民の皆様へ多くの情報をお届けしたい。」その思いで編集してまいります。よろしく願います。

（広報公聴常任委員会

委員 佐々木伸）